

2. 水洗化促進情報システム

概要

公共水域の水質改善、公衆衛生の確保及び下水道の経営管理の面から、下水道整備済み区域に居住する全住民が公共下水道へ接続することが重要です。しかし、排水設備設置工事費の個人負担などが障害となり、水洗化率の向上が多くの自治体で課題となっております。

公共下水道への接続を促進するために最も効果的な方法は、まず未接続家屋の台帳化を行うことです。その後、指定工事店とも連携し、啓発や普及活動を繰り返し実施しなければなりません。住宅地図などを活用した本システムの導入が、より効果的な水洗化促進業務を実現します。

業務実施のメリットや効果

- ① 簡単な操作で水洗化促進情報を地図上に登録するだけで、情報の共有ができます。
- ② 勸奨情報を時系列に把握することで、効率的な水洗化促進業務ができます。
- ③ 豊富な集計機能を用いて水洗化に関する統計的な情報把握ができ、水洗化促進事業計画の管理・立案に役立ちます。

自治体のご要望に応じたデータ項目でシステムを構築し、地域的要因、個別的要因を加味した、システムを構築します。また、排水設備情報システムや浄化槽情報システムと連動することで、下水道以外の汚水処理方式のデータ管理を行うことができ、集合個別処理の検討、機動的な整備の検討にも役立てることができます。



●情報表示機能

水洗化促進情報を地図上に登録し、勸奨情報を時系列に把握することで効率的な計画管理ができます。



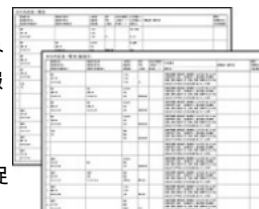
●情報検索機能

設定した条件を満たす情報を検索し、情報一覧やその個別情報の表示をします。



●分布表示機能

未水洗理由、見込み状況などを位置情報で色分け表示することができます。視覚的に捉えることで、促進業務を迅速に行うことができます。



●帳票出力機能

収集データから台帳一覧、各種のデータ集計にあわせて出力対応しています。効率的にデータを収集し、業務の効率化を実現します。